

大村高校 SSH 交流研修 ネクストジェネレーション・ミーティング

7月31日（月）から8月2日（水）の3日間、**本校1年生文理探究科全員**を対象に、首都圏の高校生と地方の高校生が交流することで新たな知見を得ることを主な目的として、**世界遺産 軍艦島** をテーマに、大村高校 SSH 交流研修 **ネクストジェネレーション・ミーティング** を実施しました。東京から**東京学芸大学附属国際中等教育学校、筑波大学附属駒場中・高等学校**の生徒の皆さん10名と引率の先生2名が長崎に来県され、本校の生徒と交流しました。主な研修のプログラムは次のようなものです。

7月31日（月）

開講行事・ウエルカムイベント

デミー博士による講義「インフラの側面からみた軍艦島」

講師 出水 享 氏 長崎大学工学研究科 技術専門職員

林修のニッポンドリル「学者とめぐる世界遺産！軍艦島」 に出演された方です！



8月 1日（火）

午前 **軍艦島周遊クルーズ**（台風の影響で、残念ながら上陸はできませんでした）





午後 様々な立場の方による、軍艦島に関する講義

- ① 文化庁 文化資源活用課 整備部門（記念物）文化財調査官 中井将胤 氏
- ② 元島民 軍艦島を世界遺産にする会 理事長 坂本道徳 氏
- ③ 長崎市役所観光政策課長 柴田 恭郎 氏
- ④ 長崎市役所世界遺産室長 栗脇 善朗 氏



8月 2日（水）

午前 各班、発表に向けた資料づくり

午後 各班による発表



生徒たちは、研修で学んだことをもとに、「世界遺産軍艦島を今後、保存すべきか・保存すべきでないか」について発表を行いました。正解がない問いについて、各自が根拠をもとに判断する力を養う経験をしました。研修後は、事後学習として、更に内容を深めた資料を作成し、8月下旬に代表班に文化庁の方の前で発表してもらう予定となっています。